

きれいでも、持ち帰ったり、植えたりしないで



**要注意!!
特定外来
生物**

オオキンケイギク

オオキンケイギクは繁殖力が強く、生態系に重大な影響を及ぼす恐れがあるとして「特定外来生物」に指定されています。市内の道端や川の土手などにも生育し、5～7月頃に鮮やかな黄色の花をつけます。見掛けても、絶対に持ち帰ったり、植えたりしないでください。

特定外来生物とは？

海外からの外来種で、日本の生態系に被害を及ぼすものとして環境省が指定した生物です。これらの生物を飼育・栽培・保管・運搬・販売・譲渡・輸入・野外に放つことなどを原則禁止しており、違反すると罰則があります。

◆オオキンケイギクの処理方法◆

根から引き抜いたオオキンケイギクをビニール袋等に入れ、**収集員へ分かるようにビニール袋等に「オオキンケイギク」と記載し**、「もえるごみ」の日に集積所へ出してください。ただし、多量となる場合は、厚木市環境政策課までお問い合わせください。

お問い合わせ 厚木市環境農政部環境政策課／厚木市中町3-17-17

TEL:046-225-2749／FAX:046-223-1668／E-mail:3100@city.atsugi.kanagawa.jp

外来生物により在来生態系が影響を受けています このような生きものを見かけたことはありませんか？



【ハリエンジュ(別名 ニセアカシヤ)】

(生態系被害防止外来種)

河川敷などに生える。成長が速くほかの植物は陽光を奪われ衰退してしまう。



【アライグマ】(特定外来生物)

ペットとして輸入されたが気性が荒く、飼えなくなり野生に放したものが繁殖。農産物や野生小動物を食い荒らす。



【マルバルコウ】

畑の雑草。ツルが作物に絡みついて四方八方に広がり光合成ができず収量が減ってしまう。



【ミシシッピーアカミミガメ】(生態系被害防止外来種)

縁日などで買われたものが飼育できず、川や池に捨てられたもの。在来のカメの生育環境に影響を与えた。



【アレチウリ】(特定外来生物)

輸入大豆に混入して侵入。豆腐屋さんの店先から増殖したと言われる。マント状に広がるので下の植物は枯れてしまう。



【アメリカザリガニ】(生態系被害防止外来種)

田んぼの畦に穴をあけ、イネの根を切るなどの農業被害や水生昆虫を捕食するなど、陸水生態系に影響を与える。